

アユの冷水病対策

(増養殖試験研究事業)

開内 洋

1. 研究目的

本県のアユ冷水病は平成5年に発病が確認されて以来、依然発生しつづけ、アユ資源に重大な影響を及ぼしている。そのため被害を軽減するための防疫対策を行う。

2. 研究方法

- (1) 防疫対策：冷水病防疫に対する普及啓発、来歴カードの実施、放流用種苗の保菌検査、河川内発生時の状況把握と確認検査を実施している。
- (2) 普及指導：種苗放流時期前に各河川漁協等を巡回して、アユ冷水病防疫に関する申し合わせ事項¹⁾にもとづきアユ種苗の生産・供給・輸送・放流等の確認を行った。また、放流立会等は、水産課、水産事務所との連携を図って実施した。
- (3) 来歴カード：各河川に放流される県内産及び県外産アユ種苗の来歴を把握するため、生産者、輸送業者、各河川漁業協同組合にそれぞれ記帳をして頂いた。
- (4) 県内産人工種苗の保菌検査：10月～放流月まで約1回/月の間隔で実施した。
- (5) 県外産放流種苗検査：放流時に検体を採取し、放流後にできるだけ速やかに検査を行った。
- (6) 種苗放流後の河川内でのへい死魚の検査：聞き取り、現地調査とあわせて検査を実施した。
- (7) 冷水病の検査と判定：アユ冷水病防疫に関する指針²⁾にもとづき2つのPCR法（Toyama等の方法、Izumi等の方法）と改変サイトファーガ培地により行った。

3. 研究結果と考察

表1に検査・指導状況を、表2に冷水病検査結果示した。放流種苗の保菌検査を18件（180尾）行なったが、全て陰性であった。5、6月に県内の種苗センター施設の一部の池のアユから冷水病が検出された。また6月には2漁協の「おとり鮎」から冷水病が検出された。

河川内での発生は漁協からの情報では、6月の一時期に県内2河川で冷水病様症状の魚が漁獲されることがあったが、その後8月末までは冷水病の発生の報告はなかった。本年の秋は台風が多く接近し、雨が多く、餌不足であったためか、雄、雌共に非常にやせており、10月には、2河川で冷水病様症状が報告され、内1河川で産卵親魚から冷水病菌を分離した。

来歴カードから、放流は主に4月下旬～5月中旬に行なわれ、放流時水温は概ね13～18℃程度であり、適切な時期に放流されていた。放流サイズは、由来や放流ロットにより異なるが概ね琵琶湖産では9～18g、他県海産では3～8g、県内人工産では2～8gであった。今年度の放流アユ種苗は重量で24,710kg、339万尾であり、由来別重量比率は、県内産人工種苗が54%、次いで琵琶湖産と他県海産が20%、その他が6%であった。

4. 研究成果

●調査で得られた結果は、内水面調査研究協議会で報告された。

表1 検査・指導状況

月日	場 所	調査・指導内容等
4/8	県内5漁協	冷水病対策巡回指導
4/9	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	冷水病対策巡回指導
4/19	八戸川漁協	放流種苗（他県産）：保菌検査
4/23	江川漁協（アユ種苗生産センター）	放流種苗（県内産）：保菌検査
4/27	三隅川漁協、八戸川漁協	放流種苗（他県産）：保菌検査
4/28	斐伊川漁協	放流種苗（他県産）：保菌検査
5/6	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査
5/10	斐伊川漁協	養殖アユ：疾病検査
5/13	周布川漁協、高津川漁協	放流種苗（他県産、県内産）：保菌検査
5/14	八戸川漁協、江川漁協、神戸川漁協	放流種苗（他県産、県内産）：保菌検査
5/17	斐伊川漁協	養殖アユ：疾病検査
6/10	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査
6/10	高津川漁協	おとりアユ：疾病検査
6/10	江川漁協	おとりアユ：疾病検査
7/9	斐伊川漁協	養殖アユ：疾病検査
10/5	高津川漁協	親魚（天然）：疾病検査
10/8	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	親魚（育成）：疾病検査
10/8	江川漁協（アユ種苗生産センター）	育成種苗（仔魚）：疾病検査
10/25	江川漁協（アユ種苗生産センター）	育成種苗（仔魚）：疾病検査、保菌検査
11/25	高津川アユ種苗センター、敬川アユ種苗センター	冷水病対策巡回指導
1/5	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査
1/8	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査
1/14	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査、保菌検査
1/14	江川漁協（アユ種苗生産センター）	育成種苗：疾病検査、保菌検査
2/10	高津川アユ種苗センター	育成種苗：疾病検査
2/23	高津川漁協（アユ種苗中間育成センター）	育成種苗：疾病検査、保菌検査
2/23	江川漁協（アユ種苗生産センター）	育成種苗：疾病検査、保菌検査
3/24	高津川アユ種苗センター、敬川アユ種苗センター	育成種苗：疾病検査、保菌検査
3/24	江川漁協（アユ種苗生産センター）	育成種苗：疾病検査、保菌検査

表2 冷水病検査結果

検査内容	由 来	検査件数	検査尾数	陽性件数
放流種苗保菌検査	県内人工産 ^{※1)}	5	50	0
	他県海産	3	30	0
	琵琶湖産	9	90	0
	その他	1	10	0
県内育成種苗・養殖魚検査 ^{※2)}		20	464	5
天然水域冷水病発生時検査		1	20	1
合 計		39	664	6

※1) H16年4月以降の保菌検査件数

※2) H16年10月～H17年3月までに実施した定期保菌検査も含む

5. 資料

- 1) アユ冷水病防疫に関する指針. アユ冷水病対策協議会. (H16年3月)